

国文学国語学科 カリキュラム・マップ (2018年以前入学生)

科 目 名	授業 形態	配当 年次	単 位	授業の主題	授業の到達目標	ディプロマ・ポリシーの番号				
						◎達成のために特に重要 ○達成のために重要				
						①	②	③	④	⑤
ディプロマ・ポリシー	国文学、国語学の専門的な知識を修得していくなかにおいて、資料を精査し問題の本質に到達する論理的思考力、学友との議論などの場で自身の着想を正確に伝え合うコミュニケーション能力、諸説を検討して新たな主張を生み出す創造力、そうした過程を通じて得られた成果を説得的に提示できる発信力、といった能力を身につけ、日本語文化に関する知識を背景に自らのアイディアを構築して豊かな人間性を獲得するとともに、その知見を外界へと発信し、社会に貢献できる人に、学士(国文学)を授与します。				①論理的思考力 ②日本語文化に関する知識(知識) ③コミュニケーション能力(態度) ④新たなものを生み出す創造力 ⑤新たな知見の発信力					
国文学基礎演習1	演習	1	2	古典作品のさまざまな形態や、それを原文で読むための知識を修得する。さらに、古典作品を読みこなすための研究方法を理解したうえで、各作品から問題点をみつけたし、それを解決するという作業をおこなう。こうした一連の作業をおとして、古典文学研究の基本的な技能をやしなう。	1.古典文学を対象とする研究をおこなうために必要な基礎知識を修得する。 2.対象となる作品から問題点を発見、調査し、調査した内容を資料にまとめて発表するとともに、論理的な形式で文書にまとめることができる。	○	◎	○		
国文学基礎演習2	演習	1	2	国文学がどのような学問であるかを学ぶ。各ジャンルについての基礎知識、時代区分の原理や研究方法、作品成立当時の政治や生活等についての知識を身につける。	1.国文学の本質と国文学研究の目的について理解を深める。 2.ジャンルに応じた基本的な研究方法と基礎的知識を身につける。	○	◎	○		
国文学概論1	講義	1	2	国文学を学んでゆくために必須の、基礎的な知識や方法を学ぶ。とくに国文学の礎となった国文学者、作品における主題と構想、文芸思潮、典拠・典出について学ぶ。	1.国文学の本質と国文学研究の目的について理解を深める。 2.ジャンルに応じた基本的な研究方法と基礎的知識を身につける。	◎	◎			
国文学概論2	講義	1	2	上代の作品を読むための基礎的な知識や方法を身につける。万葉集前期の歌人である、額田王、柿本人麻呂高市黒人等の作品を講読する。合わせて、古事記についての基礎的な知識や方法を学ぶ。	1.国文学と国学者の業績について理解する。 2.作品における主題と構想、文芸思潮、典拠・典出について、基礎的な知識や方法を習得する。	◎	◎			
上代文学講読1	演習	1-2	2	上代の作品を読むための基礎的な知識や方法を身につける。万葉集前期の歌人である、額田王、柿本人麻呂高市黒人等の作品を講読する。合わせて、古事記についての基礎的な知識や方法を学ぶ。	1.上代の作品を読むための基礎的な知識や方法を習得する。 2.学んだ知識や方法を用い、作品の作品読解を行い、かつ、それを資料にまとめて発表することができる。	○	◎	○		
上代文学講読2	演習	1-2	2	上代の作品を読むための基礎的な知識や方法を身につける。万葉集前期の歌人である、山辺赤人、山上憶良大伴旅人、坂上郎女等の作品を講読する。合わせて、風土記についての基礎的な知識や方法を学ぶ。	1.上代の作品を読むための基礎的な知識や方法を習得する。 2.学んだ知識や方法を用い、作品の作品読解を行い、かつ、それを資料にまとめて発表することができる。	○	◎	○		
中古文学講読1	演習	1-2	2	『伊勢物語』を精読する。作品の誕生した時代背景を検討したり、翻刻、資料収集、語義の調査等を行うことにより、その作品の持つ特徴や問題点についてレジュメを作成し発表する。	1.中古作品を読むのに必要な基礎知識と読解力を習得する。 2.変体仮名を読む能力を養い、日本文化の特有性について理解を深める。	○	◎	○		
中古文学講読2	演習	1-2	2	『伊勢物語』を精読する。読み解くための資料を博覧し、その作品と関連のある話柄、表現、構成をもつ他の作品を調べその相異点等を口頭で発表する。	1.中古作品を読むのに必要な基礎知識と読解力を習得する。 2.資料を収集精査し、自分の意見をまとめ、その結果を発信する能力を身につける。	○	◎	○		
中世文学講読1	演習	1-2	2	中世の古典作品を、受講生による調査・発表によって精読する。古典作品を適切に読解し、関連資料を調べながら、自説を組み立てるための基礎的な手法を学ぶ。	1.中世の古典作品を読むための基礎的な読解力を習得する。 2.自ら関連する資料を調べ、時代背景を学んで、資料を作成し、口頭で自説を発表する力を身につける。	○	◎	○		
中世文学講読2	演習	1-2	2	中世の古典作品を、受講生による調査・発表によって精読する。古典作品を適切に読解し、関連資料を調べながら、自説を組み立てるための基礎的な手法を学ぶ。	1.中世の古典作品を読むための基礎的な読解力を習得する。 2.自ら関連する資料を調べ、時代背景を学んで、資料を作成し、口頭で自説を発表する力を身につける。	○	◎	○		
近世文学講読1	演習	1-2	2	近世期に成立した文学作品を精読する。また、時代背景や文化などに目配せしつつ、その作品の特質について考察する。	1.対象となる作品の精読をおとして、近世期の作品を読むための基礎知識を修得する。 2.得られた知識をもとに、対象となる作品の解釈について自身のことばで説明できる。	○	◎	○		
近世文学講読2	演習	1-2	2	近世期に成立した文学作品を精読する。また、時代背景や文化などに目配せしつつ、その作品の特質について考察する。	1.対象となる作品の精読をおとして、近世期の作品を読むための基礎知識を修得する。 2.得られた知識をもとに、対象となる作品の解釈について自身のことばで説明できる。	○	◎	○		
近代文学講読1	演習	1-2	2	日本の近代文学を代表する作家の短編小説を、作品に用いられた表現の機能や時代背景との関連に留意しながら、受講者による調査・発表によって精読する。	1.近代の文学作品を読むための基礎的な知識と方法を習得する。 2.学んだ知識や方法を用いて作品の言葉や時代背景について調査を行い、資料を作成して口頭で発表することができる。	○	◎	○		
近代文学講読2	演習	1-2	2	日本の近代文学を代表する作家の短編小説を、作品に用いられた表現の機能や時代背景との関連に留意しながら、受講者による調査・発表によって精読する。	1.近代の文学作品を読むための基礎的な知識と方法を習得する。 2.学んだ知識や方法を用いて作品の言葉や時代背景について調査を行い、資料を作成して口頭で発表することができる。	○	◎	○		
作品研究1	演習	2-3	2	上代の作品を読むための、資料調査、用例分析等の知識や方法を学び、その上に、レジュメ作成と発表についての方法を学ぶ。	1.資料調査、用例分析等の知識や方法を習得する。 2.調べた結果をレジュメにまとめ発表することができる。	○	◎	○		
作品研究2	演習	2-3	2	中古作品を精読する。他の作品との関連性、成立事情や作品が誕生した時代背景等を調べ、解釈力や分析力といった基礎力を身につける。調査したり資料を収集したことを発表する。	1.精読により、作品研究の基礎知識と方法を習得する。 2.自分の解釈や調査したことを、論理的かつ説得的に説明する力を培う。	○	◎	○		

ディプロマ・ポリシー	国文学、国語学の専門的な知識を修得していくなかにおいて、資料を精査し問題の本質に到達する論理的思考力、学友との議論などの場で自身の着想を正確に伝えるコミュニケーション能力、諸説を検討して新たな主張を生み出す創造力、そうした過程を通じて得られた成果を説得的に提示できる発信力、といった能力を身につけ、日本語文化に関する知識を背景に自らのアイデンティティを構築して豊かな人間性を獲得するとともに、その知見を外界へと発信し、社会に貢献できる人に、学士(国文学)を授与します。				①論理的思考力 ②日本語文化に関する知識(知識) ③コミュニケーション能力(態度) ④新たなものを生み出す創造力 ⑤新たな知見の発信力											
科目名	授業形態	配当年度	単位	授業の主題	授業の到達目標	ディプロマ・ポリシーの番号 ◎達成のために特に重要 ○達成のために重要										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>①</th> <th>②</th> <th>③</th> <th>④</th> <th>⑤</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							①	②	③	④	⑤					
①	②	③	④	⑤												
作品研究3	演習	2・3	2	中世の古典作品を、受講生による調査・発表によって精読する。古典作品を理解する上で必要な知識を周辺資料から読み取り、それを利用しながら自説を組み立てる力を養う。また他の受講生とディスカッションをとおして、自説を発展させる方法を身につける。	1.古典作品を読み解く上で必要な知識を身につける。 2.発表、ディスカッション、レポートをという過程を経て、自分の考えを論理的に発信することができるようになる。	○	◎	○								
作品研究4	演習	2・3	2	近世期に成立した文学作品を精読する。また、作品成立の背景にある他作品との影響関係や典拠の撰取状況を中心に考察する。	1.対象となる作品の精読をとおして、発見した問題点について客観的に検証できる。 2.客観的な事実にもとづき、対象となる作品とそれに関連する事象について説明できる。	○	◎	○								
作品研究5	演習	2・3	2	戦争を描いた近代の文学作品を取りあげ、作品を精密に読むとともに、時代背景などにも考慮しながら、多面的なアプローチも学びつつ、近代文学研究の基礎的方法を習得する。	1.近代文学を研究する基礎的な方法を習得するとともに、作品を読むためには様々なアプローチがあることを知る。 2.自らの考察を口頭で発表したり文章にまとめることができる。	○	◎	○								
作品研究6	演習	2・3	2	評論文を題材にとり、主題と表現の関係や構成のありかたなどを調べてゆく作業を通じて、読解力や分析力を磨き、資料を博捜するノウハウを身につける。	1.対象とする作品を深く理解して、その特徴をまとめることができる。 2.得られた知見に基づいて、作品を解説することができる。	○	◎	○								
上代文学特論1	講義	2	2	和歌・歌謡における修辞についての知識と、古事記・日本書紀についての基礎的な知識を学び、その上で古事記・日本書紀の歌謡を読解する。	1.和歌・歌謡の修辞についての知識を習得する。 2.古事記・日本書紀とその歌謡についての知識と読解力を習得する。	◎	◎									
上代文学特論2	講義	2	2	萬葉集の巻々がそれぞれに持っている特色について学び、それを踏まえて、個々の萬葉集歌を読解する方法を学ぶ。	1.萬葉集の巻々の特色を理解する。 2.その理解の上に、萬葉集の個々の作品についての読解力を習得する。	◎	◎									
中古文学特論1	講義	2	2	中古の和歌や歌集を研究するための基礎力を付け、研究方法を学ぶ。修辞法、歌ことばや歌枕の変遷、歌壇の実態等の具体的な諸相を研究する。	1.和歌の修辞法や歌ことば等についての基礎的知識を身につける。 2.中古の和歌や歌集の特徴について、分析・研究するための知見を深める。	◎	◎									
中古文学特論2	講義	2	2	中古の和歌や歌集を研究するための基礎力を付ける。文献学的研究・注釈学的研究等を通じて、勅撰和歌集の成立や構造、歌語や表現、伝授と影響等の問題を考察する。	1.和歌文学を研究するための基礎的知識を身につける。 2.勅撰和歌集の構造や表現の特徴を理解し、分析・研究するための知見を深める。	◎	◎									
中世文学特論1	講義	2	2	中世の説話や伝説を読解し、そのような説話や伝説がなぜその時代に生まれたのか、周辺資料から考察する。講義において提示された研究方法を参考にして受講生がそれぞれの自説を展開する。	1.説話や伝説をうみだす地盤となった時代や文化に対する知識を習得する。 2.周辺資料を読解しながら、自ら推論を立てて自説を展開する力を身につける。	◎	◎									
中世文学特論2	講義	2	2	中世の説話や伝説を読解し、そのような説話や伝説がなぜその時代に生まれたのか、周辺資料から考察する。講義において提示された研究方法を参考にして受講生がそれぞれの自説を展開する。	1.説話や伝説をうみだす地盤となった時代や文化に対する知識を習得する。 2.周辺資料を読解しながら、自ら推論を立てて自説を展開する力を身につける。	◎	◎									
近世文学特論1	講義	2	2	近世期に出版された地誌の画像情報をてがかりに、そこに描かれた事物について読み解く。また、文学作品との影響関係や地誌類の文学的価値をさぐるとともに、文字情報と画像情報との相関性について考察する。	1.対象となる作品の画像情報をおして、近世期の文化的状況とその特質を読み取る方法を修得する。 2.画像情報からみえてくるテキスト解釈の可能性を自身のことばで説明できる。	◎	◎									
近世文学特論2	講義	2	2	近世期に出版された地誌の画像情報をてがかりに、そこに描かれた事物について読み解く。また、文学作品との影響関係や地誌類の文学的価値をさぐるとともに、文字情報と画像情報との相関性について考察する。	1.対象となる作品の画像情報をおして、近世期の文化的状況とその特質を読み取る方法を修得する。 2.画像情報からみえてくるテキスト解釈の可能性を自身のことばで説明できる。	◎	◎									
近代文学特論1	講義	2	2	明治から大正期の作家・思想家たちが、異なる文化をどのように受け止め自らの表現をつくりだしたのか、国家間の政治的・経済的関係や渡航の動機・条件などに注目しながら考察する。	1.日本の近代文学が異なる文化との交流によって形作られてきたことを知る。 2.習得した知識や研究方法を生かして論理的に考察を深め、それを口頭発表や文章で伝えることができる。	◎	◎									
近代文学特論2	講義	2	2	大正から昭和の作家・思想家たちが、異なる文化をどのように受け止め自らの表現をつくりだしたのか、国家間の政治的・経済的関係や渡航の動機・条件などに注目しながら考察する。	1.日本の近代文学が異なる文化との交流によって形作られてきたことを知る。 2.習得した知識や研究方法を生かして論理的に考察を深め、それを口頭発表や文章で伝えることができる。	◎	◎									
国文学演習(上代)1	演習	3	2	人麻呂作歌と人麻呂歌集歌を対象とし、本文校訂、注釈、読解鑑賞の知識や方法を学び、その上で作品を精読し、それをレジュメにまとめ発表する方法を学ぶ。	1.本文校訂、注釈、読解鑑賞の知識や方法を身につける。 2.その知識や方法によって作品精読の力を習得する。 3.調査し考察した内容を、レジュメにまとめ発表することができる。	○	○	◎	◎							

ディプロマ・ポリシー	国文学、国語学の専門的な知識を修得していくなかにおいて、資料を精査し問題の本質に到達する論理的思考力、学友との議論などの場で自身の着想を正確に伝え合うコミュニケーション能力、諸説を検討して新たな主張を生み出す創造力、そうした過程を通じて得られた成果を説得的に提示できる発信力、といった能力を身につけ、日本語文化に関する知識を背景に自らのアイデンティティを構築して豊かな人間性を獲得するとともに、その知見を外界へと発信し、社会に貢献できる人に、学士(国文学)を授与します。				①論理的思考力 ②日本語文化に関する知識(知識) ③コミュニケーション能力(態度) ④新たなものを生み出す創造力 ⑤新たな知見の発信力					
科目名	授業形態	配当年次	単位	授業の主題	授業の到達目標	ディプロマ・ポリシーの番号 ◎達成のために特に重要 ○達成のために重要				
						①	②	③	④	⑤
国文学演習(上代)2	演習	3	2	萬葉集歌を対象とし、本文校訂、注釈、読解鑑賞の知識や方法を学び、その上で作品を精読し、それをレジュメにまとめ発表する方法を学ぶ。	1.本文校訂、注釈、読解鑑賞の知識や方法を身につける。 2.その知識や方法によって作品精読の力を習得する。 3.調査し考察した内容を、レジュメにまとめ発表することができる。	○	○	◎	◎	
国文学演習(中古)1	演習	3	2	中古文学研究における問題を解決する知見を身につけ、その研究の方法と原理を習得する。作品の精読・分析により、テーマを設定し、資料を収集精査し、自分独自の論を構築する。また、その結果を発表する能力を身につける。	1.問題点を見つけ、情報の収集・調査により独自の論を構築する力をやしなう。 2.持論を的確に発表するプレゼンテーション能力を身につける。 3.自己の見解をクオリティの高い文章で書く能力を習得する。	○	○	◎	◎	
国文学演習(中古)2	演習	3	2	中古文学研究における問題を解決する知見を身につけ、その研究の方法と原理を習得する。作品の精読・分析により、テーマを設定し、資料を収集精査し、自分独自の論を構築する。また、その結果を発表する能力を身につける。	1.問題点を見つけ、情報の収集・調査により独自の論を構築する力をやしなう。 2.持論を的確に発表するプレゼンテーション能力を身につける。(3) 自己の見解をクオリティの高い文章で書く能力を習得する。	○	○	◎	◎	
国文学演習(中世)1	演習	3	2	鎌倉時代の説話集『十訓抄』から、発表担当者が一つ話を選び、周辺資料や時代背景を調べながら、その説話から何がいえるのかを考察し発表する。その発表内容に説得力があるかどうか、発表を聞いた受講生と、発表者との間でディスカッションを行い、その成果をレポートにまとめる。	1.対象となる作品を正確に理解し、その理解をうまく他者に伝えるための技術を習得する。 2.他の受講生とのディスカッションをとおして、自説を鍛え、より説得力をもって展開できるようになる。	○	○	◎	◎	
国文学演習(中世)2	演習	3	2	鎌倉時代の説話集『十訓抄』から、発表担当者が一つ話を選び、周辺資料や時代背景を調べながら、その説話から何がいえるのかを考察し発表する。その発表内容に説得力があるかどうか、発表を聞いた受講生と、発表者との間でディスカッションを行い、その成果をレポートにまとめる。	1.対象となる作品を正確に理解し、その理解をうまく他者に伝えるための技術を習得する。 2.他の受講生とのディスカッションをとおして、より説得力をもって自説を展開する力を身につける。	○	○	◎	◎	
国文学演習(近世)1	演習	3	2	近世前期に成立した文学作品を精読する過程で浮上する問題点について、担当者が調査・分析し、報告する。また、それぞれの報告内容について、聴講者からの質疑・批判と、それに対する担当者からの回答・反論をおこなう。さらに、報告した内容を再検討し、客観的事実にもとづく文書を作成する。こうした一連の作業を複数回おこなうことで、批判的なものごとの捉え方とそれを他者に伝える技術をやしなう。	1.対象となる作品を正確に理解し、その理解をうまく他者に伝えるための技術を習得する。 2.他の受講生とのディスカッションをとおして、より説得力をもって自説を展開する力を身につける。	○	○	◎	◎	
国文学演習(近世)2	演習	3	2	近世後期に成立した文学作品を精読する過程で浮上する問題点について、担当者が調査・分析し、報告する。また、それぞれの報告内容について、聴講者からの質疑・批判と、それに対する担当者からの回答・反論をおこなう。こうした一連の作業を複数回おこなうことで、批判的なものごとの捉え方とそれを他者に伝える技術をやしなう。	1.近世期の文学作品を対象とする研究をおこなうための知識や方法を修得する。 2.自身の力で問題点を発見し、それについて調査・分析、報告することができる。 3.報告内容を論理的な形式で文書にまとめることができる。	○	○	◎	◎	
国文学演習(近代)1	演習	3	2	近代の文学テキストを研究するために必要な基礎的作業を確認するとともに、対象に応じた様々な研究方法を知る。その上で、近代を代表する作家たちの短編小説を題材に、みずからの関心に沿って独創性ある着想を論理的に展開することを試みる。	1.作品に応じて様々な研究方法があることを知る。 2.様々な意見を理解して柔軟に思考し、それを口頭で伝えることができる。 3.研究史を理解し、自らの着想を調査・分析の上論理的に文章にまとめることができる。	○	○	◎	◎	
国文学演習(近代)2	演習	3	2	近代の文学テキストを研究するために必要な基礎的作業を確認するとともに、対象に応じた様々な研究方法を知る。その上で、近代を代表する作家たちの短編小説を題材に、みずからの関心に沿って独創性ある着想を論理的に展開することを試みる。	1.作品に応じて様々な研究方法があることを知る。 2.様々な意見を理解して柔軟に思考し、それを口頭で伝えることができる。 3.研究史を理解し、自らの着想を調査・分析の上論理的に文章にまとめることができる。	○	○	◎	◎	
古典文学史1	講義	2・3	2	具体的に作品に触れながら、古典文学における散文学史について、時代やジャンルにおける流れを学び、各々の作品が誕生した歴史的背景や周辺事情を理解する。特に物語や随筆について、作者や作品が後代に与えた影響等を考察する。	1.散文学の史的展開についての知識を身につける。 2.各時代の散文学作品読み、創作された背景や周辺事情を学ぶ。	◎	◎			
古典文学史2	講義	2・3	2	具体的に作品に触れながら、古典文学における韻文学史について、時代やジャンルにおける流れを学び、各々の作品が誕生した歴史的背景や周辺事情を理解する。特に和歌文学を中心に、歌集、歌人、歌壇等の問題を、伝統と革新という視点に立って考察する。	1.韻文学の史的展開についての知識を身につける。 2.各時代の韻文学の作品を読み、創作された背景や周辺事情を学ぶ。	◎	◎			
近代文学史1	講義	2・3	2	明治時代初期から大正時代に至る時期の日本の文学の流れを、具体的な作品に触れながら、時代背景との関係に留意しつつ理解する。	1.明治時代初期から大正時代までの日本の文学の概略を知る。 2.様々な時代の作品を、表現の特徴や時代背景に注目しながら読むことができるようになる。	◎	◎			

ディプロマ・ポリシー	国文学、国語学の専門的な知識を修得していくなかにおいて、資料を精査し問題の本質に到達する論理的思考力、学友との議論などの場で自身の着想を正確に伝え合うコミュニケーション能力、諸説を検討して新たな主張を生み出す創造力、そうした過程を通じて得られた成果を説得的に提示できる発信力、といった能力を身につけ、日本語文化に関する知識を背景に自らのアイデンティティを構築して豊かな人間性を獲得するとともに、その知見を外界へと発信し、社会に貢献できる人に、学士(国文学)を授与します。				①論理的思考力 ②日本語文化に関する知識(知識) ③コミュニケーション能力(態度) ④新たなものを生み出す創造力 ⑤新たな知見の発信力							
科目名	授業形態	配当年度	単位	授業の主題	授業の到達目標	ディプロマ・ポリシーの番号 ◎達成のために特に重要 ○達成のために重要						
						①	②	③	④	⑤		
近代文学史2	講義	2・3	2	大正時代後期から現代に至る時期の日本の文学の流れを、具体的な作品に触れながら、時代背景との関係に留意しつつ理解する。	1.大正時代後期から現代までの日本の文学の概略を知る。 2.様々な時代の作品を、表現の特徴や時代背景に注目しながら読むことができるようになる。	◎	◎					
国語学基礎演習1	演習	1	2	国語学における基礎的・基本的内容とデータの収集や集計について、コンピュータを活用した効率的な方法について学ぶ。また、最新の研究成果を概観することで、現在の研究の流れを理解し卒業論文への意欲やレポート作成時の技術的側面を身につける。	1.国語学の基礎的な知識をふまえ、データの集計など、分析方法を身につける。 2.各自の問題意識に従い、考察を行い、分析結果を論理的な形でレポートにまとめることができる。	○	◎	○				
国語学基礎演習2	演習	1	2	国語学の諸分野についての基礎知識を獲得し、とくに音韻・音声や音調、および語彙に関する研究方法やそれらの分野に特有の用語法を身につける。	1.日本語の音韻および音声の体系を理解する。 2.日本語の音調のメカニズムを理解する。 3.日本語の語彙の特徴を理解する。	◎	◎					
国語学概論1	講義	1	2	国語学の諸分野についての基礎知識を獲得し、とくに文章史や方言、待遇表現に関する研究方法やそれらの分野に特有の用語法を身につける。	1.日本語の文章の史的展開について理解する。 2.日本語の方言および方言研究について理解する。 3.日本語の敬語法の特徴を理解する。	◎	◎					
国語学概論2	講義	1	2	日本語文法に関する先行学説を分析してその特徴を明らかにすることを通して、文法研究の本質を理解し、文法現象について考察する姿勢を自覚する。また、文法研究史についての知識を得る。	1.著名な文法研究者について、その言語観と文法理論の特徴との関係を理解する。 2.文法研究の史的展開について知見を深める。	◎	◎					
国語学特論1	講義	2	2	日本語のさまざまな文法現象を取りあげ、そのような現象の背後にある要因に迫り、それが文法体系の構築にとつてどのような意義を持つものかを見きわめる。	1.日本語のさまざまな文法現象について正確に記述する。 2.その現象が、他の文法現象とどのように関連するかについて理解する。	◎	◎					
国語学特論2	講義	2	2	認知言語学の観点から「メタファー」を取り上げ、言語・感情・社会・時間といった語領域における、概念メタファーの構造と機能について考察する。	1.現代日本語の機能語について、その実態を理解する。 2.各機能語の用法やニュアンスについて理解する。	◎	◎					
国語学特論3	講義	2	2	現代日本語の機能的な表現形式を対象として、その分布の実態などについての知見から、そうした形式にあらわれる表現心理について理解する。	1.現代日本語を特徴づけるような語形式について、その実態を理解する。 2.各形式のニュアンスや表現に特徴について理解する。	◎	◎					
国語学特論4	講義	2	2	言語地理学および社会言語学の観点から日本語の方言を取りあげ、言語データの収集と集計に関するノウハウを身につける。	1.言語地理学と社会言語学について理解する。 2.実際に言語データを収集し集計する技能を身につける。	○	○	◎	◎			
国語学特論5	講義	2	2	言語地理学および社会言語学の観点から日本語の方言を取りあげ、言語データの分析方法や、分析結果の解釈に関する知識と技能を身につける。	1.言語地理学と社会言語学について知見を深める。 2.実際の言語データを分析してその背後にある要因を解釈する。	○	○	◎	◎			
国語学特論6	講義	2	2	日本語初級の留学生の作文に見られる「誤用」を取り上げ、何故それが間違っているといえるのかを考察することを通して、日本語の持つ構造を考える。	1.留学生の初歩的な作文の誤用を通して、日本語の構造を理解する。 2.誤用という現象から、他の学生と議論しつつその原因を分析する力をつける。	○	○	◎	◎			
国語学演習1	演習	3	2	日本語中級の留学生の作文に見られる「誤用」を取り上げ、何故それが間違っているといえるのかを考察することを通して、日本語の持つ構造を考える。	1.ある程度熟達した留学生の作文の誤用を通して、日本語の構造を理解する。 2.誤用という現象から、他の学生と議論しつつその原因を分析する力をつける。	○	○	◎	◎			
国語学演習2	演習	3	2	現代日本語の日常会話をデータ化し、特徴的な表現形式についてその実態を把握して、その形成過程における音声上、文法上の問題点を、実証的に検証する。	1.日常会話をデータ化し、分類・集計する技能を身につける。 2.現代日本語の実態について理解を深める。	○	○	◎	◎			
国語学演習3	演習	3	2	現代日本語の日常会話をデータ化し、待遇表現における敬意のありかたと表現形式の対応関係などについて、実証的に検証する。	1.日常会話をデータ化し、分類・集計する技能を身につける。 2.現代日本語の実態について理解を深める。	○	○	◎	◎			
国語学演習4	演習	3	2	日本語の文法現象について、とくに各品詞の機能や述語表現に関してその先行研究を分析して、それらの現象の本質を理解する。	1.先行研究を博覧して、その議論の展開を理解する。 2.文法現象の本質について理解を深める。	○	○	◎	◎			

ディプロマ・ポリシー	国文学、国語学の専門的な知識を修得していくなかにおいて、資料を精査し問題の本質に到達する論理的思考力、学友との議論などの場で自身の着想を正確に伝え合うコミュニケーション能力、諸説を検討して新たな主張を生み出す創造力、そうした過程を通じて得られた成果を説得的に提示できる発信力、といった能力を身につけ、日本語文化に関する知識を背景に自らのアイデンティティを構築して豊かな人間性を獲得するとともに、その知見を外界へと発信し、社会に貢献できる人に、学士(国文学)を授与します。				①論理的思考力 ②日本語文化に関する知識(知識) ③コミュニケーション能力(態度) ④新たなものを生み出す創造力 ⑤新たな知見の発信力							
科目名		授業形態	配当年度	単位	授業の主題	授業の到達目標	ディプロマ・ポリシーの番号 ◎達成のために特に重要 ○達成のために重要					
							①	②	③	④	⑤	
国語学演習8		演習	3	2	日本語の文法現象について、とくに連体および連用の装定表現や慣用句などに関してその先行研究を分析して、それらの現象の本質を理解する。	1. 先行研究を博覧して、その議論の展開を理解する。 2. 文法現象の本質について理解を深める。	○	○	◎	◎		
漢文学基礎演習1		演習	1	2	漢文の構造について理解し、返り点や送り仮名の基本を会得するとともに、頻出語法に関する知識を深め、中国古典文や日本漢文を読解するための基礎力を身につける。	1. 返り点や送り仮名、頻出語法についての知識・技能を獲得する。 2. 中国古典文や日本漢文を読解する。	○	◎	○			
漢文学基礎演習2		演習	1	2	漢文の構造について理解し、返り点や送り仮名の基本を会得するとともに、頻出語法に関する知識を深め、中国古典文や日本漢文を読解するための基礎力を身につける。	1. 返り点や送り仮名、頻出語法についての知識・技能を獲得する。 2. 中国古典文や日本漢文を読解する。	○	◎	○			
漢文学特論1		講義	2	2	著名な中国の古典を題材として、日中の注釈書を多く調べて比較検討しながら、訓読のしかたや鑑賞のしかたを学び、漢文学史についても知識を深める。	1. 注釈書を丹念に調べて漢文学作品を訓読する。2. 作品について理解し、深い次元で鑑賞する。	◎	◎				
漢文学特論2		講義	2	2	著名な中国の古典を題材として、日中の注釈書を多く調べて比較検討しながら、訓読のしかたや鑑賞のしかたを学び、漢文学史についても知識を深める。	1. 注釈書を丹念に調べて漢文学作品を訓読する。2. 作品について理解し、深い次元で鑑賞する。	◎	◎				
古典文法1		演習	3	2	古代日本語における文法現象について知見を深める。とくに用言の活用の体系性を理解し、未然形および連用形承接の助動詞について、その用法を整理する。	1. 各文法現象について詳細に理解し得る。 2. 各文法現象の本質について理解する。	○	◎	○			
古典文法2		演習	3	2	古代日本語における文法現象について知見を深める。とくに終止形承接の助動詞や各助詞類について、その用法を整理する。また、敬語法についても分析する。	1. 各文法現象について詳細に理解し得る。 2. 各文法現象の本質について理解する。	○	◎	○			
国語表現法1		演習	2	2	インタビュー記事・辞書原稿・広告のコピー・俳句・随筆・小説など、様々なジャンルの文章を創作する。それを通して、各ジャンルの多様な特性を分析し、また実作を通して、「書く」とはどのような作業であるのかを理解する。	1. さまざまな文章ジャンルの創作を通して、各ジャンルの特性を理解する。 2. 実際に書く作業を通して、創作の困難と喜びを理解する。	○	○	◎	◎		
国語表現法2		演習	2	2	短編小説の創作に取り組むことにより、視点・プロット・メタファー・象徴といった、小説技術を深く理解する。	1. 小説の技術にいろいろのものがあつたことを理解し、実作に生かすことができる。 2. 長い作品を最後まで書くことで、小説の構造的性質を理解する。	○	○	◎	◎		
書道1(書写を中心とする)		実習	2	1	書写教育の観点から、用具・用材に関する知識や姿勢、筆運びの基本を身につけ、楷書と行書についてその特徴を学ぶとともに、実際に執筆練習を行なう。	1. 書写に関する基本的な知識と技能を獲得する。 2. 書写指導者としての資質と態度を身につける。		○	○	◎		
書道2(書写を中心とする)		実習	2	1	書写教育の観点から、用具・用材に関する知識や姿勢、筆運びの基本を身につけ、楷書と行書についてその特徴を学ぶとともに、実際に執筆練習を行なう。	1. 書写に関する基本的な知識と技能を獲得する。 2. 書写指導者としての資質と態度を身につける。		○	○	◎		
国語科指導法1		講義	3	2	学習指導要領に即し、中学・高等学校国語科の教育課程の理論と実践を学ぶ。また、教材選択、学習指導案作成、模擬授業といった実践をとおして国語科の授業ができる基礎力をやしなひ、指導方法の技能を身につける。	1. 国語科教育の目的や原理を学び、指導法の原理と実際を理解する。 2. 教科書に掲載された言語教材等を分析して、教材化する能力を身につける。 3. 作成した指導案にしたがひ、的確な発問や充実した板書により、模擬授業を進めることができる。	○	◎	◎			
国語科指導法2		講義	3	2	学習指導要領に即し、中学・高等学校国語科の教育課程の理論と実践を学ぶ。また、教材選択、学習指導案作成、模擬授業といった実践をとおして国語科の授業ができる基礎力をやしなひ、指導方法の技能を身につける。	1. 国語科教育の目的や内容を学び、指導法の原理と実際を理解する。 2. 教科書に掲載された教材を分析して、教材化する能力を身につける。 3. 作成した指導案にしたがひ、的確な発問や充実した板書により、模擬授業を進めることができる。	○	◎	◎			
国語科指導法3		講義	3	2	学習指導要領に即し、中学校国語科の教育課程の理論と実践を学ぶ。また、教材選択、学習指導案作成、模擬授業といった実践をとおして国語科の授業ができる基礎力をやしなひ、指導方法の技能を身につける。	1. 国語科教育の目的や原理を学び、指導法の原理と実際を理解する。 2. 教科書に掲載された論理的な文章の教材等を分析して、教材化する能力を身につける。 3. 作成した指導案にしたがひ、的確な発問や充実した板書により、模擬授業を進めることができる。	○	◎	◎			
国語科指導法4		講義	3	2	学習指導要領に即し、中学校国語科の教育課程の理論と実践を学ぶ。また、教材選択、学習指導案作成、模擬授業といった実践をとおして国語科の授業ができる基礎力をやしなひ、指導方法の技能を身につける。	1. 国語科教育の目的、原理、歴史を学び、指導法の原理と実際を理解する。 2. 教科書に掲載された古典や漢文教材等を分析して、教材化する能力を身につける。 3. 作成した指導案にしたがひ、的確な発問や充実した板書により、模擬授業を進めることができる。	○	◎	◎			
卒業論文演習1		演習	4	2	卒業論文を執筆するために必要な資料の収集や、先行研究の分析法について学ぶとともに、論理的な文章を執筆する能力を身につけ、論文の形式についての知識を得る。	1. 資料の収集・集計・分析に関する技能を獲得する。 2. 論文の形式についての知識を深める。(3)文章力を向上させる。	○	◎	○	◎	◎	
卒業論文演習2		演習	4	2	卒業論文を執筆するために必要な資料の分析や解釈を踏まえて、各出席者が独自の見解を展開して相互に批判することによって、学生生活の総括たる卒業論文を執筆する。	1. 資料を解釈して、独自の見解を構築する。 2. 批判しあうことによって、知見の完成度を高める。	○	◎	○	◎	◎	

ディプロマ・ポリシー	国文学、国語学の専門的な知識を修得していくなかにおいて、資料を精査し問題の本質に到達する論理的思考力、学友との議論などの場で自身の着想を正確に伝え合うコミュニケーション能力、諸説を検討して新たな主張を生み出す創造力、そうした過程を通じて得られた成果を説得的に提示できる発信力、といった能力を身につけ、日本語文化に関する知識を背景に自らのアイデンティティを構築して豊かな人間性を獲得するとともに、その知見を外界へと発信し、社会に貢献できる人に、学士(国文学)を授与します。	①論理的思考力 ②日本語文化に関する知識(知識) ③コミュニケーション能力(態度) ④新たなものを生み出す創造力 ⑤新たな知見の発信力								
科目名	授業形態	配当年次	単位	授業の主題	授業の到達目標	ディプロマ・ポリシーの番号 ◎達成のために特に重要 ○達成のために重要				
卒業論文		4	6	国文学・国語学に関する特定の問題について、先行研究を調べるとともに実証的にデータを収集し分析して、独自の知見を披露し発信する。	1. それぞれの問題意識に沿って、実証的で漏れなき理論を構築する。 2. 達意の文章によって自らの理論を発信する。	① ○	② ◎	③ ○	④ ◎	⑤ ◎